

- 2～3 市民インタビュー「いま、私たちが思うこと」
4～6 暮らしのガイド、施設のイベント
7～8 区版

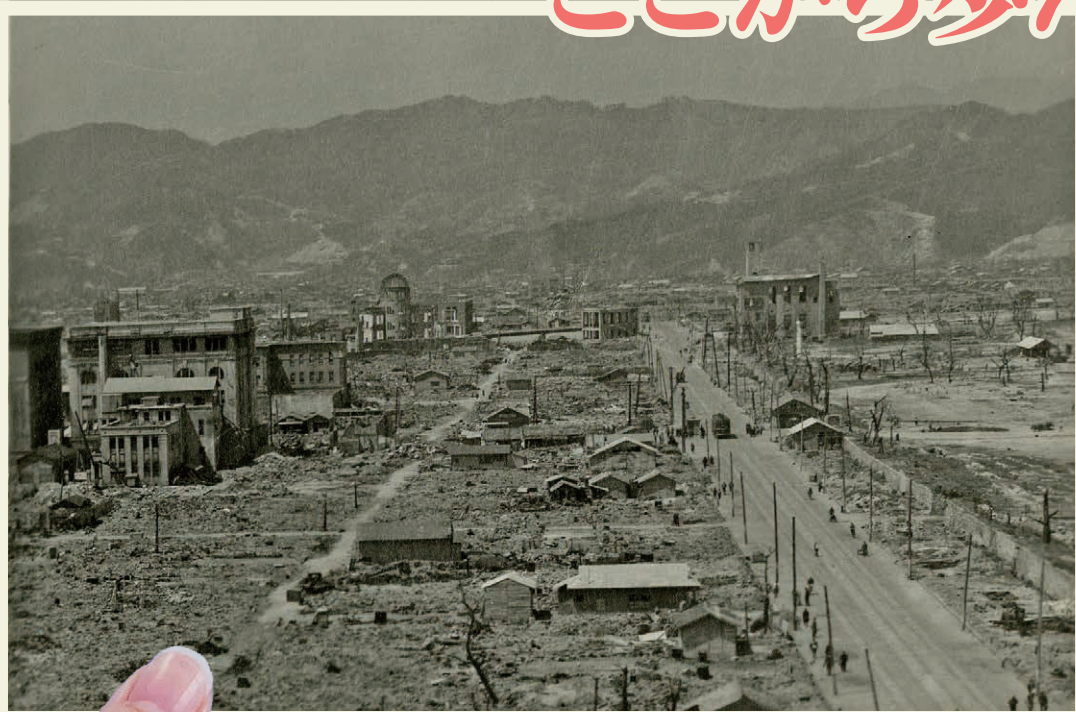


◀ 広報紙がスマホで
読めます(10言語対応)

歩を進める HIROSHIMA

被爆80周年という節目の年を迎えました。
これからの広島をつくるのは私たちです。
身近な人と思いや夢を語り合ったり、未来
へ向かう一歩を踏み出したりしませんか。

ここから歩んだ80年



胡町から紙屋町方面を望む
(下写真は1946年に撮影されたもの ©広島市公文書館所蔵)
メイン写真は加工しています

80年目の広島と世界

一年一年を積み重ねてきた、80年目の広島。世界では、いまだ、戦争や紛争が絶えません。核兵器使用のリスクが懸念されていることに加え、核兵器の近代化や増強が図られるなど、緊迫した情勢が続いています。

核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた取り組みが、従来にも増して重要となっている中、日本被団協が2024年のノーベル平和賞を受賞。被爆者の記憶の継承と核兵器廃絶の訴えが世

界中の人の心を動かし、大きな潮流を生み出しています。この地で今はまだ、被爆者の声を直接聞くことができる私たち。その長きにわたる思いを伝え続け、結実させることができるはずです。

平和への願いを世界へ

一人一人が「よりよく生きたい」「幸せになりたい」という思いで平和を願い、行動していくこと。それが、世界のよりよい未来をつくることにつながります。

次ページでは、市民の皆さんの思いを紹介します。